

ウルグアイ経済報告（2 月分）

【概況】

- 1 月の消費者物価指数（対前年同月比）は 8.32%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料、娯楽・文化の分野では 2 桁、それ以外の分野では 1 桁台の増加であった。
- 2 月の対ドル為替レートは平均 38.04 ペソと、前月比 1.85%のペソ安となった。
- 2 月の輸出額は 569 百万米ドルで、牛肉、セルロース、乳製品、木材、くず肉、プラスチック、羊毛、及び自動車部品の輸出減少に伴い、前年同月比は 18.7%減となった。一方、炭酸飲料原料、コメ、医薬品、小麦の輸出は好調であった。
- 2 月の輸出額第 1 位は牛肉で輸出額は 132 百万米ドル（前年同月比 19%減）となった。輸出全体の 35%を占める中国への輸出が減少（前年同月比 44%減）したことが輸出額減少の主な要因。中国及びブラジルへの輸出が減少した一方で、オランダ、カナダ、イスラエル、イタリアへの輸出は増加した。同 2 位はセルロースで輸出額は 92 百万米ドル（前年同月比 38%減）となった。同 3 位は炭酸飲料原料でメキシコへの輸出増加（10 百万米ドルから 15 百万米ドルに増加）に伴い輸出額は 48 百万米ドル（前年同月比 28%増）となった。
- 輸出が特に不調であったのが乳製品、木材及びプラスチックで、乳製品は主要輸出先であるブラジル及びロシアへの輸出減少に伴い輸出額は 35 百万米ドル（前年同月比 18%減）となった。一方、中国への輸出は大幅に増加した（前年同月比 821%増）。木材の輸出額は中国への輸出減少（前年同月比 86%減）に伴い 30 百万米ドル（前年同月比 13%減）となった。プラスチックの輸出額はブラジルへの輸出減少に伴い 15 百万米ドル（前年同月比 31%減）となった。
- 輸出が好調であったのがコメ及び医薬品である。コメの輸出額はペルー（前年同月に比べ 6 百万米ドル増）、ブラジル（3 百万米ドル増）、セネガル（6 百万米ドル増）への輸出増加に伴い 30 百万米ドル（前年同月比 22%増）となった。医薬品の輸出額はブラジル及びエクアドルへの輸出増加に伴い 17 百万米ドル（前年同月比 26%増）となった。
- 2 月の主要輸出先を見ると、ブラジルへの輸出が、これまで輸出先第 1 位であった中国への輸出を微妙に上回った。第 1 位のブラジルへの輸出額は 68 百万米ドル強（輸出額全体の 18%）となった。コメ、マーガリンの輸出は増加するも運送関連用品、自動車・自動車用品、牛乳の輸出減少に伴い前年同月比は 22%減となった。同 2 位は中国（約 68 百万米

ドル、輸出額全体の 18%) で、牛肉、くず肉、カードもしくはコームされていない羊毛、木材の輸出減少に伴い前年同月比は 49%減となった。同 3 位は EU で輸出額は 68 百万米ドル (前年同月比 2%増) となった。牛肉及びまきの輸出が増加した一方でコメの輸出は減少した。同 4 位の米国への輸出は冷凍牛肉の輸出減少に伴い前年同月比 13%減となった。また、同 5 位のアルゼンチンへの輸出額も 22 百万米ドルと前年同月に比べ 20%減少した。

【トピック】

1 ラカジェ・ポウ次期大統領のアメリカ・ビジネス・フォーラム出席

2 月 7 日、ラカジェ・ポウ次期大統領はプンタ・デル・エステで開催された第 5 回アメリカ・ビジネス・フォーラムに出席した。右機会に同次期大統領は、メルコスール域外国との FTA 締結に向けたメルコスールの柔軟化の必要性や治安問題をはじめとする次期政権における主要課題について言及しつつウルグアイの現状と今後の政策に関し説明した。

2 対英関係

2 月 1 日付当地主要紙報道によると、ダディ駐ウルグアイ英国大使はラカジェ・ポウ次期大統領にジョンソン英首相からの書簡を手交した。ダディ大使はプレスに対し、英国政府には二国間交流強化に向けたウルグアイとの貿易対話を開始する意向があり、EU 離脱後も英国の自由貿易を推奨する姿勢に変わりはなくメルコスール・EU・FTA を支持する旨説明した。また、EU からの離脱により今後は新たな協定の交渉を一主権国家として実施することが可能となったと述べた。

3 対韓関係

2 月 10 日、ウルグアイにてメルコスール・韓国 FTA 交渉が開催された。双方の関係者は、本件交渉妥結は本年中頃と見ている。2019 年にメルコスールで作成された統計によると、韓国・メルコスール間の貿易総額は 9,829 百万米ドルになり (輸入総額 5,468 百万米ドル、輸出総額 4,361 百万米ドル)、韓国からの主な輸入品は電気回線、自動車・自動車部品、電話・部品であった。また、主な輸出品はトウモロコシ、大豆、鉄、エチルアルコールであった。

4 対中国関係

中国政府はウルグアイとの外交関係樹立 30 周年に際し、カサバジェ地区の公立学校建設計画（投資総額 3 百万米ドル）に対し 2 百万米ドルの資金援助を行った。本年 3 月に開校予定の同校は 3 学年 360 名の児童を対象とし、12 の教室、食堂、キッチン、公邸等の設備を備えている。

5 格付け

(1) R&I 社

2 月 5 日、日本の格付け会社 R&I 社はウルグアイの投資適格格付けを「BBB」で据え置く旨発表した。経済見通しについてはフィンランド企業 UPM 社の第 2 セルロース工場設置、インフラ全般、公共赤字対策の状況を鑑み「安定」から「ポジティブ」に引き上げられた。また、低金利で金融市場へアクセス可能な状況や多国間金融機関からの割当により金融債権の支払いが問題なく達成できている点についても肯定的に評価された。

(2) Fitch Ratings 社

2 月 20 日、格付け会社 Fitch Ratings 社は、経済成長の停滞や財政赤字増加に伴う財政状況悪化を鑑み、ウルグアイの投資適格格付けを「BBB-」、経済見通しについては「ネガティブ」で据え置く旨発表した。

6 財政赤字

2 月 28 日の経済財務省の発表によると、本年 1 月までの 12 ヶ月間の財政赤字の対 GDP 比は 4.6%と、昨年 12 月までの 12 ヶ月（4.7%）に比べ多少改善された。

7 失業率

2019 年の失業率は 8.9%（モンテビデオ県 8.8%、地方部 8.9%）と 2007 年以降の最高値に達した。特に若年層への影響が大きく、年齢別に見ると 14 歳から 24 歳までの年齢層の失業率は 27.7%と、7.6%以下に収まっている他の年齢層に比べ高い数値となった。

（了）